

保健体育科学習指導案

令和元年9月13日(金) 第5校時 体育館

1 単元名 「球技」(ゴール型・バスケットボール)

2 運動の特性

(1) 一般的特性

相対する2チームが空中に設置された直径45cmの相手ゴールに、限られた時間内にどれだけ多くのシュートを決めるか、個人的・集団的技能による攻防を展開して勝敗を競う競技である。「ドリブル」「パス」「シュート」が連続して行われ、より正確で確実な技能が要求される競技である。

(2) 生徒から見た特性

バスケットボールの楽しさや喜びを感じる要因	バスケットボールを遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none">・シュートができた・いいパスができた・パスをもらえた・ゲームで勝った・作戦通りにいいプレイができた	<ul style="list-style-type: none">・シュートが入らない・パスが通らない・どこにいたらよいか動けない、遅れる・ケガをする・ゲームで負ける

3 生徒の実態(一部省略)

《令和元年度新体力テストの結果(平成31年度4月実施)と平成30年度埼玉県平均値との比較》

	握力	上体起こし	長距離歩屈	反復跳び	50m走	立地跳び	ボール投げ	持久走
本校男子平均								
県男子平均								
比較								
本校女子平均								
県女子平均								
比較								

(1) 技能

2学年のときに基本的技能を中心に行い、個人技能の向上が図れた。積極的にボールに関わる生徒が多い。しかし、チームでボールを回し、動きながらゴール前まで運ぶことが苦手である。

(2) 態度

普段の授業から準備や片付けなど、周りを見て行動ができる生徒が多い。授業内ではバスケットボール部の生徒が多く、リトルティーチャーとしてチームを引っ張り、話し合い活動においても中心になっている。しかし、技能が低い生徒や動きが分からない生徒は、少し意欲に欠けるところがある。

(3) 知識、思考・判断

多くの生徒は、技能の特性や上手に行うために方法を考えようとする意識は高い。学習カードに個人の課題を記入でき、自分の課題を把握している。また、課題を解決し新たな課題を設定できている生徒もいる。

4 教師の指導観

(1) 技能

第2学年で選択した際に「ドリブル」「パス」「シュート」の基本的技能の取得に力を入れた。第3学年では、ボールを繋ぎ、チームで連携してスペースを作り出し、キープしたり自分のマークマンについたりしながら攻防の展開ができるようにし、「できた」「わかった」と生徒が思える指導をする。そのための方策として、ルールに縛りをつけて積極的にボールに関わることができるように場の設定をする。また、できる動きをゲームに生かし成功体験を多くさせて、チームで勝敗を競う楽しさや喜びを多く与えたい。

(2) 態度

一人一人の違いに応じたプレイなどを認め合うことができ、仲間と教え合い助け合うことで互いに意識が高め、勝敗を競い成功体験を重ねることで運動意欲を向上させることができる。そのため仲間への声かけを積極的に行う時間を設け、さらに仲間からもらったアドバイスや仲間にあげた言葉を毎時間記入させる。また、一人一人の違いに応じたプレイなどを認め合わせ、プレイに自信をもたせたい。

(3) 知識、思考・判断

仲間との関わりの中で、これまでに学習した基礎的な知識や技能を活用し、ペアやチームで自己の課題について考え、判断したことを言葉で伝えたり文章にまとめたりして表現することで、互いに学び合い教え合える環境を作る。また、作戦板を活用し、チームの連携を理解・分析させる。そして課題解決策を選択できるようにしたい。

5 単元の目標

- (1) 学習に主体的に取り組み、一人一人の違いに応じたプレイを認めることができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 自己やチームの課題に応じて、練習方法を選択することができるようにする。 【思考・判断】
- (3) 空間を作り出すなどの動きによって攻防することができるようにする。 【技能】
- (4) 技術の名称や行いを理解し、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・理解】

6 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
単元の評価規準	球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して学習に積極的に取り組もうとしている。	球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身につけている。	球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。
学習活動に即した評価規準	①積極的に取り組もうとしている。 ②仲間のプレイを認めようとしている。 ③健康・安全を確保している。	①仲間のよいプレイを指摘している。 ②課題に適した練習方法を選んでいる。 ③ボール操作やボールを持たないときの動きなどの運動のポイントを見つけている。	①安定したボール操作で攻防を展開することができる。 ②仲間と連携して空間を作り、攻防を展開することができる。	①技能も名称について具体例をあげている。 ②ルールについて具体例をあげている。

7 単元の計画

(1) 領域の取り上げ方

学年/運動	サッカー	バスケ	ハンドボール	卓球	バドミントン	バレーボール	ソフトボール
第1学年	11時間		11時間			11時間	11時間
第2学年	10時間	10時間		8時間	8時間	9時間	9時間
第3学年	9時間	9時間		12時間	12時間	9時間	9時間

※第1・2学年は、2年間ですべての型を必修。

※第3学年においては、「サッカー」「バスケットボール」から選択。「バレーボール」「ソフトボール」から選択。「卓球」「バドミントン」から選択。

(2) 運動種目

学年	教材	目指す動き
2	バスケットボール	ドリブルやパスを使い相手のコートに素早く攻め込み、空間に仲間と連携して走り込み、マークをかわしてゴール前での攻防を展開する。
3	バスケットボール	仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、空間を作り出したりして攻防を展開する。

(3) 指導と評価の計画 (別紙)

8 本時の学習と指導（9／9時）

- (1) ねらい 仲間と連携して空間を作り、攻防を展開することができる。【技能】
 (2) 準備 ボール、ゴール、得点板、カラーコーン2つ、作戦板、ビブス、ホワイトボード
 (3) 展開

段階	埼玉スタンダード	学習内容・学習活動	○指導上の留意点 ☆評価
導入 8分		1 用具の準備 2 集合・整列・挨拶・出席確認 3 ランニング、準備運動、補強運動	○協力して準備を行わせる。 ○リーダーにグループの報告をさせる。 ○元気よく正確に行わせる。
展開 30分	つかむ	4 ねらいの確認	
	考える 深める	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">仲間と連携して空間を作り、ゲームを楽しもう。</div> <p>5 感覚づくりの運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルダッシュ→シュート（左右2本） ・シュート練習(1'30) ・1on1→2on2→3on3(パスのみ) <p>6 話し合い・動きの確認(2'00)</p> <p>(1)自分の動きの確認とメンバーの動きの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードの活用 ・チームで意見を伝え合う <p>(2)動きながら確認する(5'00)</p> <p>7 ゲーム(5-3-5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の動きの修正とメンバーの動きの修正 ・ホワイトボードの活用と実践 ・チームで意見を伝え合う 	<p>○ゲームにつながることを意識して行わせる。 ○動きのポイントを意識できるように声かけをする。</p> <p>○積極的な意見交換ができているグループを称賛し、周囲への手本とする。 ○ホワイトボードに作戦と一人一人の今日のゲーム目標を書かせ意識を高めさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">☆仲間と連携して空間を作り、攻防を展開することができる。【技能】</div> <p>○ゲーム中はよいプレイを称賛する。 ○前半のゲームを通して反省をさせ、後半に活かさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>△努力を要すると判断させる状況(C)の生徒への指導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間を作り出すために、人のいない場所への移動を声かけする。 <p>◎十分満足できると判断される状況(A)の生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の動きを把握し、連携してゲームを行っている。 </div>
整理 12分	まとめる	8 集合・健康観察 9 学習カードの記入 10 学習の振り返り・まとめ 11 次時の予告 12 挨拶、片づけ	○ケガや体調不良の確認を行う。 ○本時のねらいと目標の達成状況を振り返らせる。 ○2名ほど指名し、発表させる。 ○協力して片づけを行わせる。